

第60回国民体育大会剣道競技結果

第2試合場			
確認	本部記録	戦評	記録
	宮本	矢部	米澤

11

(少年女子)

平成17年10月23日(日)		第11試合	1回戦 2回戦 3回戦 準決勝戦 3位決定戦 決勝戦					勝者数	総本数	勝敗
主審	都道府県	順	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	3	4	
河田清実	広島	氏名	見浦	土井	小櫻	池元	前本			
		試合	1 反相 2 ヌ 則殺 3 ヌ [延長] 回回	1 コ 反相 2 則殺 3 [延長] 回回	1 反相 2 則殺 3 [延長] 回回	1 コ 反相 2 則殺 3 [一本勝] 回回	1 反相 2 則殺 3 回回			
副審		経過	3 [延長] 反相 2 則殺 1 ヌ 回回	3 [延長] 反相 2 則殺 1 回回	3 [延長] 反相 2 則殺 1 コ 回回	3 反相 2 則殺 1 1 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	1	2	×
下島貴代一 安倍尚志	長崎	氏名	馬場	藤崎	川谷	原口	神原			
時間			11分 03秒	13分 03秒	5分 40秒	4分 00秒	4分 00秒			

戦評

2回戦から登場の広島と強豪神奈川を退けた長崎の実力者同士の一戦。先鋒戦は両者とも気合い充分な激しい技の応酬で試合が始まる。長崎馬場は一瞬の隙をつく引き面で先制するが、広島見浦は鋭い跳び込み面で五分に戻し延長戦で会心の出頭面で主導権を握る。次鋒戦は、広島土井の機敏な足捌きで間合いを詰めての戦いと、長崎藤崎の落ち着いた剣捌きの対照的な試合運びの戦いとなり延長戦の末、広島土井が捨て身の小手を決め広島が勢いに乗る。中堅戦は、両者とも間合いの攻防が続く。広島小櫻は積極的に攻めて出るが、長崎川谷が機会を捉えた出頭小手を鮮やかに決め長崎が反撃に出る。副将戦は、攻め続けられていた広島池元が狙いすましていたような出頭小手を決め広島に勝利を呼び込む。敗れたとはいえ長崎の選手は気迫のこもった立派な試合ぶりであり実力伯仲の好試合であった。